



ソフトウェア無線機



実機展示中



ソフトウェア無線機

NIPPON SIGNAL

無線機の中核であるフィルタ・変調・復調部をソフトウェアで実装することで、
小型化・省電力化などを実現。

従来無線機の課題



サイズが大きい

無線仕様が固定

ソフトウェア無線技術の導入

ソフトウェア無線機

フィルタ・変調・復調部をソフトウェアで実装



アナログ回路削減による

小型化・省電力化

1つのH/Wにて実現

様々な無線仕様への対応

SWアップデートによる

機能向上に対応



ソフトウェア無線機

特 徴

NIPPON SIGNAL

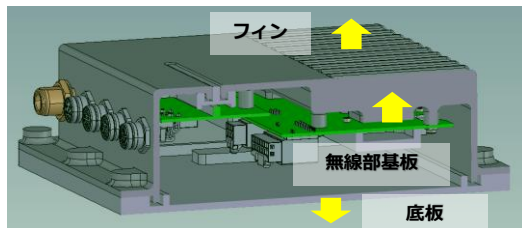
塵・埃の多い場所、狭小なスペースへの設置を考慮。
ヒートシンクが一体となった小型金属筐体により、耐環境性の高さを実現。

特 徴

1

筐体放熱による

小型・ファンレス化



- スペースがある所では、フィンから空気中へ放熱
- 狭小スペースでは底面から取付先の筐体へと導熱

寿命があり保守対象である
ファンが不要に

特 徴

2

小型・防水構造による

施工性向上



- 防塵防水性能 IP67
- 広い温度範囲で動作可能

アンテナ・無線機設置の
自由度が向上

特 徴

3

密閉構造による

信頼性の向上



- 金属シールドにより強固に回路を保護
- 筐体内への粉塵、汚れた空気の流入を抑制

様々な環境に適応し
高信頼動作を実現



ソフトウェア無線機

仕 様

NIPPON SIGNAL

項 目	仕 様
周波数	2400 ~ 2484 MHz
送信出力	Max +30dBm
周波数帯域幅	Max 40MHz
動作温度範囲	-20 ~ +70 °C
サイズ	216 x 291 x 68.5 mm
入力電圧	DC 12 ~ 24 V
無線I/F	TX/RX 1port / RX only 1port
外部I/F	Ethernet×2 / RS422×4
消費電力	20W
耐環境性	IP67